

ディスポーザー使用開始の入居者で、詰まり・嘔み込など故障が増加中！！

～ディスポーザーの正しい使用方法を学習しましょう～

- 生ごみは無理に押し込まないでください。



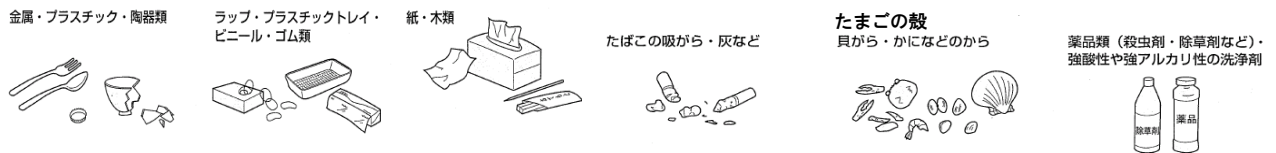
(悪い例)
生ごみが破碎できなくなります。また、モーターに負荷がかかりすぎ、故障の原因になることがあります。

- 生ごみを破碎するときは、必ず水を流してください。(毎分約8リットル以上：小指の太さ)

水を流さないと、配管の詰まりの原因になります。

また、粉碎処理が正常にできず、本体内部の部品がはやく磨耗・腐食する原因になります。

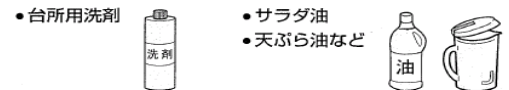
- 投入口に次のような物は絶対に入れないでください。排水詰まりや嘔み込で動かなくなります！



本体の故障や、配管の詰まりの原因になります。また、処理槽で正常な処理ができなくなります。

- 投入口に、次のような物を多量に入れないでください。

タケノコの皮、トウモロコシの芯、パイナップルの芯などの繊維質の強いもの。洗剤、使用済みのてんぷら油など。食器洗いに使用される量や、鍋などに付着している油量程度は支障ありません。



- ディスポーザーが動かなくなった？ シンクの水が流れなくなった？ 取扱説明書で解決しましょう！

- ディスポーザーを使用しないご家庭も見受けられます。使用を呼びかけましょう！

ディスポーザーは動かさないと、生ゴミ粉碎用の固定歯に生ゴミなどが付着し、

排水口より水が流れなくなります。また、ディスポーザー本体の腐食を早めることにもつながります。

水物語 No16

ダムを有しない日本最後の清流四万十川！



清流・四万十川と沈下橋

四万十川で育った鮎の塩焼きは格別です。そのほか青海苔、鰻、鮎など清流ならではの魚を食べることができます。以前に旅行の機会を逸しました。一度はゆったりと旅してみたいものです。

日本最後の清流といえば、四万十川を想起するほど有名な川です。四万十川は、高知県の西部を流れる、全長196km、流域面積2270km²の四国で最長の川です。本流に大規模なダムが建設されていないことから、日本最後の清流、また、柿田川、長良川と共に日本三大清流の一つと呼ばれています。

四万十川の沈下橋は本流に22本、支流を含めると47本ある。日本には他に徳島県、大分県、宮崎県にあり総数で約400本ある。鉄筋コンクリートつくりで欄干がなく、通常の水位より2～3m上にかけている。台風や大雨時には沈下することで、流木などが橋脚などに引っ掛かり橋全体が破損、流出するのを防いでいる。このため徳島県の吉野川では潜水橋と呼ばれています。増水し20cm位の水位なら渡る人もいます。酒酔い運転の自動車が夜中に運転を誤り転落する事故も少なくなく、この場合はほとんど助からないとのこと。沈下橋と川、周囲の山並みを醸し出すのどかな景観は、四万十川の代名詞にもなっており、しばしば好まれて写材にもなっています。

東京都中央区新川1-16-8 KSビル 6F

汚泥ゼロ・臭気ゼロ

ハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス

資料：ウィキペディアより引用